

ほけんだより 9月

★第7号★
2015.9.01(火)
浦添高校*保健室*

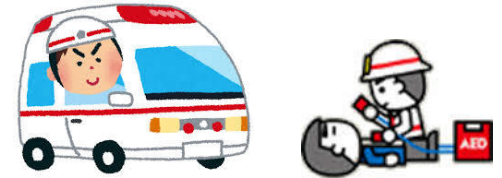


夏休みが終わり、再び学校生活が始まりました。みなさんにとって、どんな夏休みだったでしょうか？休み中も、部活動や塾などで、ふだん以上に忙しく過ごした人も多いようですね。

2学期はすぐにキラ星も開催され、慌ただしくなりますが、暑さや忙しさによる疲れが出やすい時期でもあります。早めに休養をとり、体調管理に十分気を配りましょう。

9月9日 救急の日

正しく使おう。
救急車



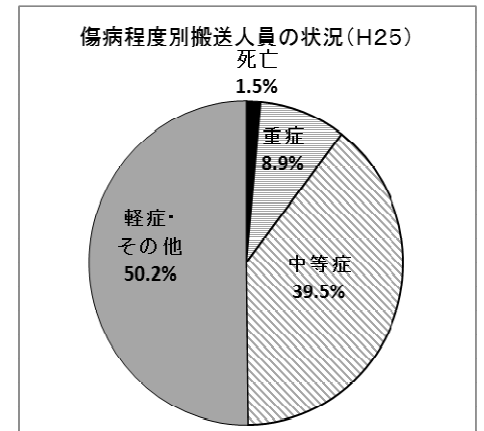
9月9日は「救急の日」です。

救急の日は、「9(きゅう)9(きゅう)」の語呂合わせから、救急医療関係者の意識を高めるとともに、救急医療や救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深めることを目的として、昭和57年(1982年)に厚生労働省によって定められました。

＝データでみる救急車＝

平成26年版消防白書(総務省消防庁)によると、平成25年の救急車の出動件数は、前年(580万2455件)に比べ10万6912件増加し、590万9367件となりました。これは、全国で1日平均1万6190件、約5.3秒に1回の割合で救急車が出動したことになります。

また、救急車により搬送された人は、平成25年は534万117人で、このうち、死亡、重症、中等症の傷病者(負傷したり病気にかかったりした人)の割合は、全体の49.8%です。一方、軽症の傷病者及びその他(医師の診断がないもの等)、入院や治療を必要としない人の搬送は、全体の半数以上(50.2%)を占めています。



最近では、軽い症状の場合に救急車を呼んだり、なかには救急車をタクシー代わりに呼んだりすることが問題になっています。緊急ではない場合にも救急車を呼んでしまうと、本当に救急車を必要とする人への到着時間は長くなります。みんなが安心して救急医療を受けられる社会を目指したいですね。

判断に迷った時は、相談窓口へ！

急な病気やケガをしたとき、救急車を呼んだほうがいいのか、自分で病院を受診すればいいのか、どこの病院に行けばいいのか迷うことがあります。



電話相談窓口があります。
#8000



ためらわず救急車を呼んでほしい症

- ★意識の障害
 - ・意識がないまたはもうろうとした状態が続く
 - ・ぐったりしている
- ★けいれん
 - ・けいれんが止まらない
- ★けが・やけど
 - ・多量の出血を伴うケガ
 - ・広範囲のやけど
 - ・開放した骨折 など



※生命に危険がおよぶ可能性があると思われるら、迷わず119(救急車)の要請を

意識がしっかりしていて、介助すれば移動できるなど緊急性が低い場合は各自で病院へ行くようにしましょう

AEDに関する2つの質問

Q1) 学校のAEDの設置場所を知っていますか？

浦添高校には現在1台のAEDが設置されています。設置場所は体育館の玄関にあります。

まだ、確認したことのない生徒、職員一度はぜひ、確認をして下さい。



Q2) AEDの使い方を知っていますか？

①音声に従って操作

ふたを開けると、自動的に電源が入っているものもあります。

②電気ショックは自動で

内臓コンピューターが必要と判断した場合だけ、電気ショックが行われます。間違っても作動することはないので、意識のない人に対しては、なるべく急いで使います。